

### 侵襲性肺炎球菌感染症

千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症は、2013年14～52週に53例、2014年に66例、2015年に113例、2016年に151例、2017年1～3週に13例の届出があった。年々届出数が増加しているため、2013年14週～2017年3週に届出のあった396例の発生状況をまとめた。

類型別では、患者391例(98.7%)、感染症死亡者の死体5例(1.3%)であった。

性別は、男性241例(60.9%)、女性155例(39.1%)であった(表)。

年齢群別では、70代94例(23.7%)、60代72例(18.2%)、5歳未満70例(17.7%)、80代55例(13.9%)が多かった(表)。

診断月別届出数を図に示す。明らかな季節性はないが、7月～9月は少ない傾向がある。

図 2013年14週～2017年3週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症  
診断月別・年齢群別届出数 396例

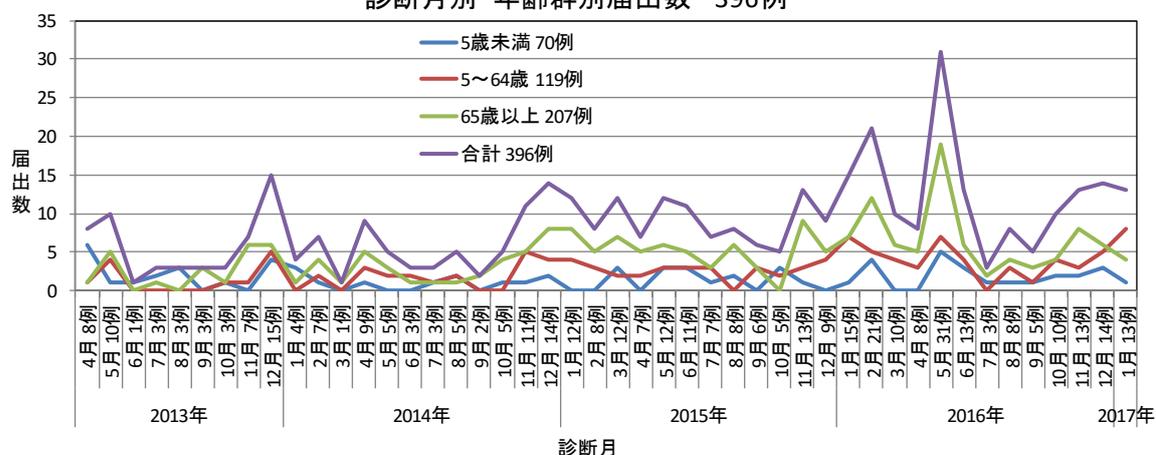


表 2013年14週～2017年3週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症 年別・性別・年齢群別届出数

	2013年14～52週		2014年		2015年		2016年		2017年1～3週		合計	
	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性別												
男性	32	60.4	41	62.1	67	59.3	92	60.9	9	69.2	241	60.9
女性	21	39.6	25	37.9	46	40.7	59	39.1	4	30.8	155	39.1
年齢群												
5歳未満	18	34.0	11	16.7	17	15.0	23	15.2	1	7.7	70	17.7
5～9歳	1	1.9	0	0.0	4	3.5	3	2.0	1	7.7	9	2.3
10代	1	1.9	0	0.0	2	1.8	4	2.6	1	7.7	8	2.0
20代	0	0.0	0	0.0	1	0.9	3	2.0	0	0.0	4	1.0
30代	3	5.7	2	3.0	8	7.1	6	4.0	0	0.0	19	4.8
40代	1	1.9	4	6.1	4	3.5	14	9.3	3	23.1	26	6.6
50代	3	5.7	6	9.1	7	6.2	5	3.3	1	7.7	22	5.6
60代	8	15.1	16	24.2	19	16.8	26	17.2	3	23.1	72	18.2
70代	10	18.9	14	21.2	26	23.0	43	28.5	1	7.7	94	23.7
80代	8	15.1	11	16.7	17	15.0	17	11.3	2	15.4	55	13.9
90代	0	0.0	2	3.0	8	7.1	7	4.6	0	0.0	17	4.3
合計	53	100.0	66	100.0	113	100.0	151	100.0	13	100.0	396	100.0

症状等は、発熱340例(85.9%)、菌血症254例(64.1%)、肺炎173例(43.7%)、咳128例(32.3%)、意識障害94例(23.7%)、全身倦怠感81例(20.5%)、髄膜炎64例(16.2%)、頭痛51例(12.9%)、嘔吐33例(8.3%)、項部硬直31例(7.8%)、痙攣20例(5.1%)、中耳炎11例(2.8%)、大泉門膨隆2例(0.5%)の記載があった(複数報告あり)。

検査方法では、分離・同定による病原体の検出が 389 例(血液 365 例、髄液 50 例)、病原体抗原の検出が 42 例、検体から直接の PCR 法による病原体遺伝子の検出が 14 例であった(複数報告あり)。